

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和1年6月25日から令和1年11月29日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 050282 B18055	

2 福祉サービス事業者情報（令和 元年9月現在）

事業所名： （施設名）長野市 柳町保育園	種別： 保育園	
代表者氏名： 市長 加藤 久雄 （管理者氏名）保育・幼稚園課次長 広田 貴代美	定員（利用人数）：180（174）名	
設置主体：長野市 経営主体：長野市	開設（指定）年月日： 昭和 24年 7月 1日	
所在地：〒380-0803 長野県長野市三輪1丁目2-8		
電話番号： 026-241-7894	FAX番号： 026-241-7894	
ホームページアドレス： http://www.city.nagano.nagano.jp/		
職員数	常勤職員： 65名 非常勤職員 21名	
専門職員	園長 1名 子育て支援員 2名	
	保育主任 2名 保育士 14名	
	保育士 51名 調理員 5名	
	子育て支援員 2名	
	調理員 6名	
	看護師 3名	
施設・設備 の概要	（居室数） 乳児室 5室 ほふく室 1室 保育室 7室 遊戯室 1室 支援センター 1室 相談室 1室 調理室 1室 事務室 1室 便所 7室	（屋外遊具等） 鉄棒 すべり台 雲梯

3 理念・基本方針

【保育理念】 こどもの健やかな心身の発達を図り、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。

- 児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもを保育することを目的とする。
- 子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。

【基本方針】

- 安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を十分発揮できるようにします。
- 専門の資格を持った職員が養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。
- 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。
- 家庭と連携を図りながら、子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、地域における子育て支援の拠点として、社会的役割を果たします。
- 保育を実践するにあたっては、「全体の計画」に基づき、一貫性を持って子どもの実態に応じた柔軟な保育を展開します。

【保育園目標】

- 子どもも大人も楽しい保育園 “みんな友だち やなぎまち”
- よく食べ、よく遊び、健康な子ども
- 子どもの成長を喜べる大人

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

柳町保育園は長野市直営の一つで、昭和13年4月方面委員事業助成会経営の社会会館保育園として開設し、昭和24年7月柳町中学校内に移転、柳町保育園として認可設置された。昭和36年6月に県立盲学校へ移転し、昭和46年現在地に改築している。

長野市の中心部に位置し、近隣に県営住宅を控えており、市役所や会社等勤務地が多く入所希望者が多い。近くに柳町五叉路があり交通の要所となっているため、交通量が多く送迎時や園外保育時など特に安全面に配慮を要する。未満児や障害の受け入れにも積極的に取り組んでおり、家庭的な雰囲気作りを工夫し一人ひとりに寄り添う保育を心がけている。核家族が多く、保護者の就労形態の多様化により、時間外保育利用者が多く遠距離通園園児も多い。

平成2年より一時預かり事業を開始し、18年より定員を20名にし、日曜休日保育を開始している。また地域子育て支援センターを併設し地域の子育て支援にも取り組んでいる。

7時半から19時まで開園しており、利用者が多く、長野市公立保育園では1番大規模の保育園となっている。また平成30年10月に「信州やまほいく」認定を受けた。街中の保育園であるが、園庭や戸外遊びや近隣の公園への散歩を通し「信州やまほいく」を実践している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①地域の子育ての拠点として子育て支援に積極的な取り組み

柳町保育園は、地域で一番大きな保育園となっており利用人数や職員数が多く、7時半から19時まで時間外保育、休日・一時預かり等幅広い保育サービスを提供している。また、ろう学校の幼稚部の子ども達との交流、園児と障がいがある子どもと保護者が交流を行い、遊びを通して心身の発達を促す取り組みを積極的に行っている。特に地域子育て支援センターを併設し未就園児と保護者対象に開放されている。保護

者の様々な子育てや悩みの相談に応じており核家族が進む中で相談できる心強い存在になっている。お母さん同士の交流の場になっており、保育園と同じ建物の中にあるので保育の様子も近くで見学できる点が良い。職員体制も保育主任2名、子育て支援員2名、看護師3名と充実しており、どの保育士も全員が笑顔で挨拶し元気で明るい。地域の拠点としての役割を担い子育て支援に積極的に取り組んでいる点が長所として評価できる。

②街中の自然を取り入れた「信州やまほいく」の取り組み

「信州やまほいく」は幼児期の子どもを対象に、屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、知力と体力も同時に高めることができる新しいスタイルの教育・保育である。多様な自然や地域の環境を生かした活動を通じて、子どもたちの知的好奇心や感性が豊かに育まれ、さらに異年齢の集団活動の中でコミュニケーションや社会性、自尊心や自己肯定感の向上が期待できるものとして長野県が推奨している。

柳町保育園では平成30年度に認定を受け、新幹線や電車を身近に見ることができる環境や街中ではあるが近くに公園がたくさんある環境を生かし、散歩に出かけ草花や虫に触れて楽しんでいる。また、花や野菜を育て、世話をし成長を楽しみにしている。子どもと一緒に保育士も楽しみ、言葉がけを工夫したり素材・体験を多く取り入れたりし、子どもが「やってみたい!」と思える環境作りを大切にしている。柳町保育園では一人ひとりの発達段階を捉え、健康・人間関係・環境・言葉・表現の五感を街中ならではの散歩で交通ルールを学んだり危険予知(KY)の体験を生かしたりしながら「やまほいく」に取り組んでいる。

③第三者評価を取り入れ保育サービスの質の向上

長野県福祉サービスの第三者評価基準(保育所)の考え方を取り入れ、基本的なマニュアルの整備が長野市全体で統一され運用されている。また、外部の福祉サービスの第三者評価の受審を中長期計画の中で計画されている。この取り組みは毎事業年度の事業計画の作成や「全体的な計画」と整合させ活かしている。保護者アンケートについても定期的に第三者評価のアンケート形式で実施されており、今回に受審によるアンケートと比較してもほぼ同様な結果であり信頼性ある結果となっている。「全体的な計画」と実施、検証、次年度への改善とPDCAサイクルが活かされている。職員研修についても第三者評価についての周知がされており、柳町保育園全体で取り組んでいる。この成果として保育園では人事異動により長野市の各園に赴任する場合、統一された基準により運営されていることで安心して業務に取り組め保育園の運営について理念や基本方針に基づく保育サービスの質が確保されていると実感できる。

◇特に改善する必要があると思う点

①園児が散歩で利用する道路の安全強化

柳町保育園は長野市の中心市街地に位置し、交通量も多い地域に立地している。また「信州やまほいく」の認定を受け、園外の遊園地での外遊びや近隣の公園への散歩に出かけている。平成31年5月に大津市で散歩中の大勢の園児が死傷する事故が発生した。柳町保育園では、これら散歩コースの危険調べを実施し、危険個所を洗い出し安全な散歩ができるよう取り組んでおり、保育士に周知されている。

柳町保育園では危険マップを作成し、危険個所の洗い出しと共通認識を図っている。その中で横断歩道の設置、ガードレールが欲しい等の要望が出されている。また、大津市では事故後「キッズゾーン」の設置を全国に先駆けて設置する事例が報告されて

いる。園児の散歩コースについては、道路の速度を制限する「ゾーン30」の指定やその道路を通行する運転手等には速度制限について明示する路面標示を増やしたり、また「スクールゾーン」に準じ、時間帯を限定し歩行者の専用道路にするなどの「キッズゾーン」の設置、道路の塗装、速度制限、横断歩道、ガードレールや反射鏡の設置など道路の安全について、さらに自治体、地域住民、警察、道路管理者と協力して取り組むことを期待する。

②外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実

利用者アンケートでは「外部からの侵入に対する安全な対策がとられていますか」の質問では「はい」が21%、「どちらともいえない」が47%、「いいえ」が21%、「わからない」が3%となっており、保護者からは防犯体制についての希望や要望が多く更なる安全対策の期待が高い。柳町保育園では不審者の対応を兼ね入口正面の事務室に一人の主任が常駐する体制をとっている。また、不審者への対応については交番の警察官と相談しながら取り組んでいる。また不審者に対するマニュアルも整備され訓練も実施されている。実施している不審者訓練の様子や鍵などの安全対策について改善している点を保護者や地域によりきめ細かに伝え安心・安全の情報提供を密にすることを期待する。

③災害に対する準備の見直し

長野市では台風19号の災害により甚大な被害を受け、長野市の保育園も洪水により被災した保育園がある。柳町保育園では災害への対応として計画的に毎月の避難訓練（火災・地震）、消防訓練や安全点検を行っている。また引き渡し訓練も適切に実施されている。

災害により被災した場合、保育園のサービスを早く再開してほしい保護者からの要望が高いと考えられる。長野市においては地震等の災害について具体的な震度想定による被害を予想した対策として事業継続を確実にするための長野市業務継続計画（BCP）震災編が策定されている。保育園についても被災した後の保育施設を運営再開するための独自の事業継続計画（BCP）の策定（トイレの使用ができない場合や職員の出勤が困難な場合等）を今後検討することを期待する。また、豪雨や台風、地震の災害時に休園する基準や臨時に休園する場合の判断基準について保護者等へは明示されていないと思われる。気象庁の警報や自治体の避難勧告、避難指示での保育所の開所・休園の在り方や職員の安全確保についての考え方・基準を保護者等にもよりきめ細かく伝えることを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和1年11月28日記載）

○これまで、長野市の保育理念や基本方針に沿った、質の高い乳幼児保育の提供を目指し、全職員が一丸となって、保育の振り返りによる見直しや利用者サービス、職員育成に取り組んできました。

今回の第三者外部評価の受審により、柳町保育園の日常の保育活動を審査いただく事で成果や課題等について再認識する事ができました。

また、保護者皆様には保護者アンケートで温かい励ましのお言葉、改善を促すお言葉等をいただきありがとうございました。さらに、伸ばしていく為に不断の努力を継続してまいります。

○評価結果総評の「特に良いと思う点」

- 1 地域の保育の拠点として育児支援に積極的な取り組み
- 2 街中の自然を取り入れた「信州やまほいく」の取り組み
- 3 第三者評価を取り入れ保育サービスの質の向上

に関しては、さらに伸ばしていく為に不断の努力を継続してまいります。

○評価結果総評の「特に改善する必要があると思う点」

- 1 園児が散歩で利用する道路の安全強化
- 2 外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実
- 3 災害に対する準備の見直し

に関しましては、自園だけでは解決できない事もありますので、保育・幼稚園課の指導を仰ぎながら改善できる事から取り組んでまいります。

調査者様からの新鮮な視点で自園の強みと弱みを示唆していただく事により、客観的に保育の振り返りができ、職員の士気をさらに高める事ができました。

ご指摘いただきました事については、真摯に受け止め、それぞれにフィードバックしたいと考えております。

今後もより良い保育の提供を行う為に改善を行い、職員一同、子ども達及び保護者の皆様の最善の利益に繋がるように努めてまいります。

最後になりますが、第三者という新鮮な視点で評価していただいた環境・福祉事業評価センターの皆様には感謝申し上げます。